

文教厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和8年6月16日(火)

開催場所：1・2号委員会室

● 6月定例会提出議案審査

6月定例会提出の議案を審査し、担当部局から個別の案件ごとに説明を受け、質疑、協議、申し入れなどを行いました。

町民生活部

1. 町有バス路線キャッシュレス決済導入について（使用料 113 千円・器具費 358 千円）

令和7年10月より町内バス路線再編の実証運行、本年4月より本格運行が開始されました。現在は現金または回数券による決済となっていますが、キャッシュレス決済導入で利用者利便性向上を図るとの説明を受けました。

なお、本年10月からの運用開始が予定されています。

【主な質疑】

委員：さらなる利用者の利便性向上に向けて、町内を運行する民間バス会社にも同様のシステム導入を働きかけては？

担当：民間企業であるため情報共有は図ります。

町立病院

1. 採血業務支援システムについて（医療機械器具等購入費 3,080 千円）

令和5年度に採血業務を検査室へ集約し採血台2台で運用していますが、外来患者の採血待ち時間が診察全体の遅延を招き、加えて前採血室では抗がん剤治療や救急対応が増加し、今年度から開始したペイン外来に伴う処置及び待機スペース需要も高まっています。そのため患者の負担軽減及び業務効率化を図るために、採血業務支援システムを1台増設すると説明を受けました。

これにより外来待ち時間の短縮が期待でき、医療の質の向上と診療収入の増加に資することが見込まれています。

【主な質疑】

委員：1台増設することによる効果をどのように考えていますか？

担当：外来が混雑する8時半から10時半では60分程度の待ち時間が生じていますが、20分から30分程度の待ち時間短縮を見込み、患者の負担軽減を図ります。